

## 【ピリピ人への手紙 3章】

「主であるキリスト・イエスを知っていることの  
すばらしさのゆえに」(ピリピ3:8)

パウロは神の選民イスラエル民族に属し、イスラエル初代の王サウルを出した誇り高いベニヤミン部族であり、ヘブル語を話す生粋のヘブル人で、律法については最も忠実なユダヤ人の一派パリサイ人であり、教会を迫害したほど熱心で、律法を守ることで、誰からも非難されることがない程で、人間的に言うならば最高の条件を備えた人間であったと自分で言っている程ですが、**復活のイエス様と出会った素晴らしさゆえに、それら全てのものが損(塵芥、糞尿のごときもの)と思うようになりました。**だからどんなことが起ころうと喜びなさい！と、(パウロ自身獄中にいても)喜んでいるのです。

私達もまたこの体験を多かれ少なかれして、クリスチャンになりました。しかし試練や困難が起こったら、果たして今歩いている道は本当に自分を幸せにしてくれる道なのか？と疑い始めるのです。そして3:18、19「クリスチャンとして歩みながら、実はキリストの十字架に敵対しているものが大勢いるからです。彼らの行き着く先は永遠の滅びです。自分の欲望を神とし〜**頭は、この地上の生活のことでいっぱい**になっています。」感わしです。「しかし、私たちのふるさととは天にあります。(私たちの本当に帰るべき国籍は天にあります。)そこには救い主である主イエス・キリストがおられます。」この世の欲で惑わされて、目標を忘れることがないようにしましょう。私たちが神の働きを体験する中で、「神は本当にそう言ったのですか？」と疑いもきます。イエス様がお受けになるご受難を説いた時に「そんなことがあなたにおこるはずがありません。」と言ったペテロに「下がれ、サタン」と言われました。(マタイ16:22)十字架を負うという最も大切な一点を無視し、十字架の敵となつては、**救いと神の栄光を見ることはできません。**

先日ライブに行こうとしたら、電車が事故の為に遅れているのです。「私が行かない方がいいのかな。」と思ったのですが、神様にこの事も感謝して**祈り、聞いた**のです。すると自分の思いを超えて、ライブに行ける方法を教えて下さり、時間に間に合うように行かせて下さいました。霊の戦いはあります。しかし揺るがされる事なく、「堅く信仰に立って、この悪魔に立ち向かいなさい。」(Ⅱペテロ5:9)新しい歩みが更に起ってきます。**悔い改め感謝と賛美を捧げ、神様に祈り聞いてゆきましょう。**教会にも個人的にも、次の段階の働きが用意されています。**神のみ心を行う人生**を歩んで参りましょう！！



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

## SHILOAM

【シロアム:遣わされた者】

2012.10.21 No.706

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

**我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて〜彼らは打ち負かされた。**

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。  
人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、  
そういう人は多くの実を結びます。  
わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。  
(ヨハネ15:5)



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。